

令和7年度 第2回函館高等支援学校 学校運営協議会 記録

出席者 青田基様、小林裕司様、有川祐樹様、喜久川三希子様、山崎敏昭様、川井博光様、岩井丈様
相原香織様、吉田尚美様、松田主査
欠席者 中村圭吾様、細谷一博様、須摩直樹様、

1 日時 令和7年10月15日（水） 14時00分から15時00分まで

2 会場 北海道函館高等支援学校 1階会議室

3 本日の予定

（1）会長挨拶

（2）校長挨拶

（3）地域学校協働活動（HKS サポーターズ）の活動について【吉田 CO】

（4）学校教育活動の様子、これからの取組【教頭】

（5）次年度の学校経営方針について【校長】（別紙）

（6）その他

記録

（1）会長挨拶

副会長 青田様より

コミュニティスクールの在り方として、学校と地域が協働する本来の姿がここ半年ほど良い形で進んでいると感じている。完成形はないものであるが、何が双方にとって良いのか考えて進んでいくものである。良い雰囲気を継続しながら、高みを目指せると良い。

（2）校長挨拶

地域の力を借りしながら前半スムーズに教育活動を行ってきた。生徒が生き生きと毎日過ごせているのはみなさんのおかげである。生徒は外に出て活動している方が生き生きとしており、学校教育目標に近づけると感じている。

（3）地域学校協働活動（HKS サポーターズ）の活動について

9/22 今年度の熟議を行い、23名に参加いただいた。「働き続ける力」をテーマに、幅広い視点から討議していただいた。地域と学校が一体となって子供たちの成長を支えていけるように、活動を継続していきたい。

これからの予定

10/26 花かいどう、グラウンド整備に7名参加予定

11/29 学校祭での販売（事業所作品、飲み物、バザー）

2/7 シーニック de ナイト参加

～「熟議」参加者からの感想～

・喜久川様

保護者と同じ課題について話し合う機会はあまりなく、とても良い会だった。保護者の気持ち、理解度などについて知ることができた。講演のような一方的でない、グループワーク等を茶話会のような形で、希望事業者を呼び幅広くできたらよい。企画をお願いしたい。

・有川様

「働き続ける力」については、つまずいた時に孤立してしまい、働き続けることが難しくなるケースがある。孤立させないために、家庭での支えは重要であるが、両親も同じ方向を向いているとは限らない。様々な人が関わり続けることが有効であると考えている。

・小林様

昨今は健常でも離職率が高い。仮に離職したとしても、「働く」という気持ちが大切で育てる必要があると感じている。

・青田様

熟議では、様々なものの見方、考え方触れ、今まで気付かなかったことに気付く。動き始める第一歩である。続けていく事が大切である。

(4) 学校教育活動の様子、これからの取組

教頭より、HP の紹介、これからの行事予定の紹介

(5) 次年度の学校経営方針について（別紙にて説明）

- ・カフェと函館マラソンボランティアを本校の教育の2本柱にしている。
- ・キーワードは、『「笑顔」の教職員が「笑顔」の子どもたちを育てる』。
- ・人権を尊重した教育（ジェントルティーチング）誤解を招かない指導支援を行う。
- ・開校8年目となり故障等も増えるが財政難である。「持続可能」を意識する。
- ・行事の精選、見直し。働き方改革は、子供と向き合う時間を作るために。
- ・令和9年度に向けた本校の在り方を考える。中学校の進路指導、通信制高校などへの流れがあり、今後の推移を見た適正配置を本府に投げかけている。
- ・校舎は広いが生徒増に伴いバスの下校便が混雑する。函館バスとも連携、相談していく。

→今後、学校評価、年度末評価を行っていく。何かあれば校長まで。

第3回の会で承認の流れ。

(6) その他

・山崎様

公園、河川、町会館の清掃を行っていただき大変感謝している。花かいどうで新道沿いが彩られることで、交通事故死が0となった。今後も続けていきたい。町会館でのパン販売もよかったです。

・岩井様

函館マラソンは2回連続でエントリーが増加。今年は7400人が完走した。フィニッシュに加えエイドでのボランティア協力に感謝している。今年の全国マラソン大会ランキングではベスト10入りとなっている。来年度も6月最終日曜での開催を予定しているので、ご協力をお願いしたい。

・川井様

本校は石川町内にあり、町会としての付き合い方が難しい。以前、町内会での販売活動を打診した際には、校外に出ることが難しいとの返答であった。この度、石川町会で実施したことなので、ぜひ、来年度に向けて桔梗町会での販売を検討していただきたい。